



明日香村で暮らす

移住ガイドブック

イジュウノススメ



明日香村



日本の
こころのふるさと

明日香村

そんな明日香村で
暮らしてみませんか？



明日香村は、奈良県の中心部に位置し、「明日香法」という法律に守られている村です。
「日本のこころのふるさと」と呼ばれる景観が明日香ファンを魅了しています。

田舎だけど都会に近い村

「古き良きものを守る」古都保存法

「住民生活の向上を図る」明日香法

この二つの法律によって、織りなされている明日香村

歴史、文化、自然が身近にある地

そんな明日香村で暮らしてみませんか？



村の人口

基本情報

男性	2,575人
女性	2,771人
人口	5,346人
世帯数	2,215世帯

※人口および世帯数は令和4年3月31日現在



ACCESS

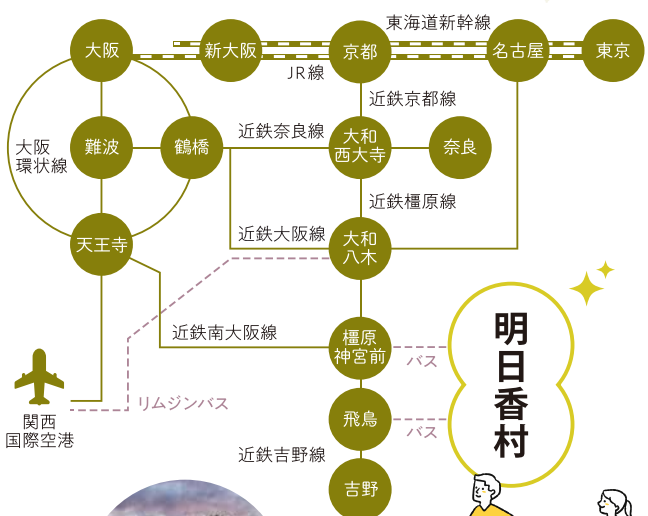
電車&バスでお越しの方

大阪から・・・約1時間
JR「大阪」→JR「天王寺」…(徒歩)…近鉄「大阪阿部野橋」
→近鉄「飛鳥」

京都から・・・約1時間
JR「京都」…(徒歩)…近鉄「京都」→近鉄「橿原神宮前」
→近鉄「飛鳥」

名古屋から・・・約2時間
JR「名古屋」…(徒歩)…近鉄「名古屋」
→近鉄「大和八木」→近鉄「橿原神宮前」→近鉄「飛鳥」

東京から・・・約4時間
東海道新幹線でJR「名古屋」またはJR「京都」で近鉄線に乗り換え



お車でお越しの方

大阪方面から・・・約1時間(南阪奈道路、大和高田バイパス)

京都方面から・・・約1時間30分(京奈和自動車道、国道24号)

名古屋方面から・・・約2時間30分(東名阪自動車道、名阪国道)

東京方面から・・・約6時間30分(東名高速道路、東名阪自動車道)



Interview
01

移住者インタビュー

自然や歴史の一部になっているという幸福感



Profile

迫田 晃亘さん 真由美さん 2013年に移住

農業・林業や天然の乾物業などを営む晃亘さんは兵庫県三田市出身、リラクゼーションサロンを営む真由美さんは大阪府守口市出身。長女、次女との4人暮らし。

Check it!



農業を核にした暮らしを求めて明日香村へ

晃亘さん

明日香村に移住する前は、妻とオーストラリアで農に携わる仕事をしていました。長女が生まれることをきっかけに帰国を決め、近畿地方と近隣エリアで移住先探しを開始。条件は、「農業を中心として他の仕事を組み合わせながら生活できる場所」でした。現在は、米とレンコン、マコモダケを中心作物とした農業に加えて、乾物業と林業の仕事をしています。住まいのある稲渚地区は、美しい「稲渚の棚田」で知られる場所です。私はツアーガイドとして、訪れる方を案内する仕事も行っています。まさに、移住前に思い描いていた暮らしができています。

真由美さん

明日香村の大きな魅力は、人の温かさです。子育てという点では、子どもを地域の宝としてみんなが大切に見守ってくれる風土がありがたいです。移住からほどなくして長女が生まれて以来、地域の方にはずとかわいがってもらっています。



四季の移ろいと人の温かさを肌で感じる毎日

晃亘さん

明日香村は、季節ごとの表情の変化が本当にきれいです。どの季節も魅力的なのですが、私が大好きなのは冬です。薪ストーブで暖を取りながら家族みんなで食べる明日香や近隣の食材を使ったお鍋は最高です。外の寒さが厳しいほど、家族や地域の人の温かさが心にしみみます。稲渚地区は、棚田に代表されるように昔ながらの暮らしや自然が受け継がれている場所です。ありがたいことに私たち家族も農業や地域の行事を通して、“受け継いでいく側”の一員にさせてもらっています。自分たちが自然や歴史の一部になっているようで、とても誇らしく、幸せを感じています。

真由美さん

移住にあたっては、私たちには「明日香バイオマルシェ」の存在が大きかったです。頻繁にマルシェに通い、人のつながりを作る中で現在の住まいにたどり着きました。マルシェには、移住者もたくさん参加しています。情報収集としては最適な場所なので、ぜひお立ち寄りください。



Interview
02

移住者インタビュー

創作にも
子育てにも
申し分のない場所



Profile

前田 剛志さん 真由子さん 2017年に移住

美術家で大学教員でもある剛志さんは奈良県香芝市出身。移住後に村内の観光案内所に勤め始めた真由子さんは大阪府出身。長男、次男との4人暮らし。

支援制度のおかげで納得のリフォーム

剛志さん

現在の住まいは、明日香村が運営する空き家バンクで見つけました。大幅なリフォームが必要だったのですが、その費用の一部を移住者支援の制度でまかなえたことは、とても助かりました。

真由子さん

村をあげて移住者を支援してくれていることは、とても安心できます。明日香村の役場の職員方は、地域事情にとっても詳しいです。おかげで、どんな疑問や不安を投げかけても、きちんと答えてくれます。移住を考えている方は、遠慮せずに役場の職員の方に質問してください。きっと、満足いく答えを返してもらえますよ。

仕事も学びも、
すべてが暮らしの中にある

剛志さん

移住前は実家のある香芝市に住んでいました。住宅兼アトリエだったのですが手狭になり、移住を考えるようになりました。

真由子さん

自然の中で子育てをしたいと考えていました。そこで候補になったのが明日香村です。夫が勤める大学への通勤の利便性などと自然の豊かさとのバランスを考えた結果、ちょうどいい場所として明日香村が移住先に決まりました。

剛志さん

私は作品の題材として、神話や古代の遺物を用いることがあります。花や草木も作品のモチーフになります。それらが暮らしに溶け込んでいるのが明日香村です。創作にあたっては題材や発想を得るために「取材」に出かけることがよくあるのですが、ここでは、日々の暮らしが取材のようなものです。何気なく自転車で村内を走れば、あふれるほどの歴史と自然からインスピレーションをもらえます。

真由子さん

子どもたちは植物や虫にとっても詳しくなりました。生態を観察して「図鑑に書いてあることと違う」といった気付きにも出会っています。それらを学校の先生やご近所の方に投げかけると、図鑑の説明にはない、季節の変化に応じた生き物たちの姿を教えてください。私自身も旬の野菜に詳しくなり、「その時期にあるもので料理をする」というスタイルになりました。家族みんながそれぞれに、明日香村の自然や歴史を学びながら暮らしているように思います。



Interview
03

移住者インタビュー

仕事も暮らしも、
すべてが
「ちょうどいい」

Profile

藤本 まどかさん 2016年に移住

アクセサリ作家。大阪府出身。奈良県橿原市出身のご主人と小学生の長男との3人暮らし。自宅で製作を行い、インターネットや日本各地での催事などで販売を行っている。



Check It!



自宅からの景色を楽しみながら創作に没頭

周囲を畑に囲まれ、ぽつんと1軒だけ立つ我が家の周辺には、野鳥が頻繁にやってきます。キジが現れたときは驚きましたが、今ではそれも楽しみの1つです。季節ごとの花もきれいに咲きます。そしてなんと一言でもお気に入り、空を美しく輝かせる夕焼けです。それらをすべて、自宅の仕事部屋から眺めることができます。私はアクセサリ作りの仕事に、「作りたいときに、作りたいものを作る」というスタンスで取り組んでいます。部屋からの眺めのおかげでストレスはゼロ、気分はうきうきで、いつまでも仕事を続けられます。

自然の豊かさが魅力の明日香村ですが、実は都心部へのアクセスも抜群です。大阪や京都への拠点駅である橿原神宮前駅や大和八木駅へは、車を少し走らせれば到着です。東京や名古屋での仕事へも、日帰りで無理なく行くことができます。

食材のほとんどは毎週開催される明日香ビオマルシェで調達できますし、スーパーやショッピングセンターも近いです。さらに、子どもが通う小学校も落ち着いた環境。すべてにわたって「ちょうどいい」のが、明日香村です。

「顔の見える人たち」で体が作られる贅沢

移住してからの大きな変化のひとつは、息子が野菜好きになったことです。地元や近隣で取れる有機栽培の野菜を中心とした食事の結果、随分と舌が肥えてしまいました。美味しい野菜に出会ったときなどは、「これは誰が作ったの?」と、生産者をたずねてきます。言ってみれば息子は自分の体すべてを、顔を知った人たちによって作ってもらっているようなものです。とても贅沢なことだと感じています。

移住にあたっては、明日香ビオマルシェに毎週通い、あわせて村内をくまなく歩きました。マルシェで出会った人に空き家の情報をたずねたり、気になる空き家があったら役場に問い合わせたりもしました。



その結果出会ったのが、現在の住まいです。空き家バンクをはじめとした開示されている情報以外にも、現地に足を運ぶからこそ得られる情報もあります。移住を考えたなら、まずは動くこと!それが、満足いく移住への道だと思えます。

Interview
04

移住者インタビュー

こだわりの
珈琲とともに
明日香の風を全国へ

Profile

中島 伸弥さん 2021年に移住

大阪府出身。3年間かけて徒歩で日本を一周した後に、鹿児島県で温泉・宴会事業に勤務。2021年に明日香村へ移住し、コーヒー豆の焙煎・販売を行う「トブトリノ焙煎所」を開業。



check it!



届けたい「豊かさ」が明日香村にはある

私が経営する「トブトリノ焙煎所」では、「豊かなコーヒー時間をお届けする」をコンセプトに、こだわりのコーヒー豆を受注生産し、販売しています。現代のモノづくりにおいては、人が環境を管理することで品質を一定に保つことが良しとされていますが、当焙煎所では自然の変化を活かした、日本人らしいコーヒーをお客様にお届けしています。季節の移ろいや気候条件をありのままに受け止めてコーヒーを焙煎することで、コーヒーが持つ本来の風味とともに鮮やかで自然の情景がお客様のお手元まで届くことを意識しています。

私は少し前に全国の自然や地域を歩いてまわり、そのなかで最も暮らしたいと惹かれた場所が明日香村でした。四季の鮮やかな変化や、1400年におよぶ歴史と文化、そして日本の原風景を綿々と受け継ぐ人々の営み。自然と人の営みが古代より息づいている明日香の地だからこそ表現できる、日本人らしい心が豊かになるコーヒーが生まれるのではないかと思います。移住を決めました。コーヒーは気温や湿度などの外部環境に大きく影響をうけるため、明日香村の古民家での焙煎はとても繊細で難しい作業ではあります。しかし焙煎を通して四季の移り変わりを五感で感じることは、遠く昔から日本人が和歌などで育んできた自然との向き合い方とも近く、試行錯誤をしながらも楽しくコーヒーと向き合っています。

地域の一員になることこそが、
田舎暮らしの本質

明日香村の数多くの豊かさは、人と人との助け合いによって受け継がれています。お祭りなどの年中行事や、野菜のおすそ分けなどといった日々の暮らしは、温かなつながりを感じさせてくれます。お近所さんとのつながりや地域の中での自分の役割は、今まで多くの人が求め続けてきた「モノの豊かさ」とは違う、目に見えない豊かさでもあります。ここには今も昔も変わらない人と人との暮らしが息づいていて、それが巡り巡って明日香村の文化や歴史を受け継ぐことにもなっています。明日香村への移住は、広い意味では「田舎暮らし」になります。田舎暮らしで大切なことは、地域の一員として溶け込むことだと私は感じています。



今、私たちが魅力を感じている“田舎”は、地域の方々によって、長い時間をかけて守り継がれてきた、大切な財産です。移住される方が地域のことを想い、行事や助け合いをつないでいくことは、目に見えない魅力を守り継ぐことに繋がります。移住という大きな転換点のなかで、目に見えないけれど温かい「心の豊かさ」にご興味のある方がおられましたら、ぜひ明日香村をご検討いただけたらと思います。

安心して暮らせる村

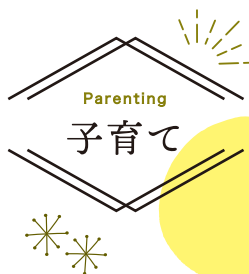


Education
教育



豊かな自然や歴史、
村の人々とのふれあいの中で
多くのことを学べる環境！

“幼小中一貫教育”×“少人数学級”で
充実した学校教育を進めています！
幼稚園・小学校へは最寄りのバス停
から送迎があります！



Parenting
子育て



ファミサポ明日香



子育て支援を
“してほしい”×“したい”
人と人との助け合い



あすかなかよくらぶ



放課後や夏休みなどに
児童をお預かりし、
適切な遊びと生活の場を
提供しています！



子育て支援アプリ あすかっこ！



子育て講座やイベント
などの情報、子供の成長
記録など役立つツールが
満載のアプリです！



入学祝金

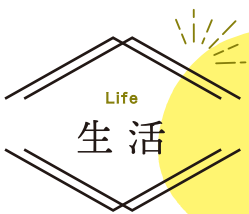
小・中学校への入学時
1人につき
30,000円を支給

給食費の助成

第2子 半額
第3子以降 全額



support system



村内には飲食店が盛りだくさん！

新鮮な野菜や果物が豊富に揃う直売所などもあります！

近隣のスーパーなどへも車があれば10分圏内！



楽スポあすか

スポーツ環境の提供と健康増進の支援をしています！

詳しくはこちら



福祉・医療も充実！

明日香村では国民健康保険診療所を開設しており、医療と保健福祉部門の連携をはかり、村民のかかりつけ医として、幅広い診療の提供と在宅医療の充実を目指しています。



Business

起業

チャレンジショップ「ASUCOME(あすかむ)」

村内で起業を目指す方を応援！一定期間、低予算で店舗経営にチャレンジ！



Farming

就農

▶ 初めての方

まずはオーナー制度で体験を！

▶ 本気の方

農業委員会がサポート！一度ご相談ください！



明日香村への移住Q&A

移住をお考えの方へ

明日香村空き家バンクのご利用が

Q 移住を考えています。物件はありますか？

A 「明日香村空き家バンク」で検索してください。空き家情報を掲載しております。不動産サイトでも掲載されているケースがあります。

Q 移住の実態を教えてください。

A 移住相談は年間200件以上あり、10件程度の成約実績があります。紹介できる土地、家の数は限られていますので、定期的に物件情報をご覧ください。

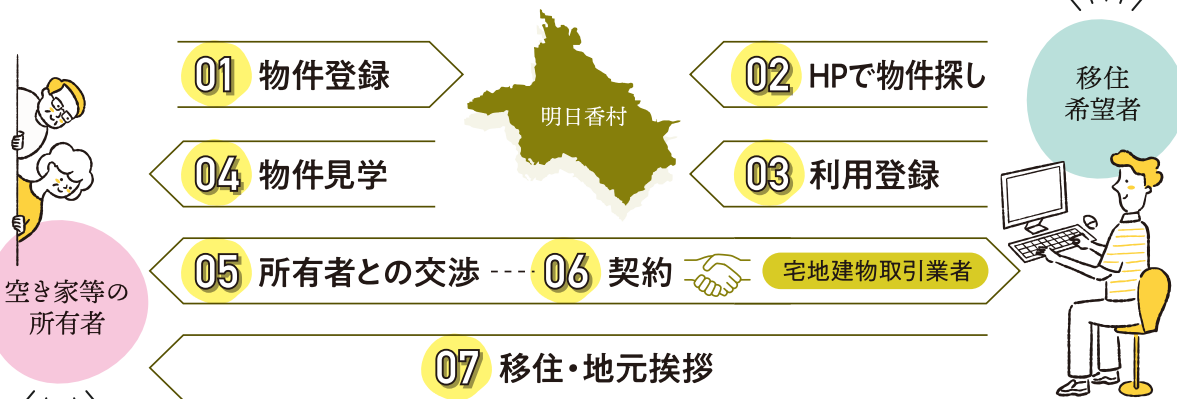
Q 空き家バンクの物件情報に賃貸と記載されていますが、売買は可能ですか？

A 所有者の希望を記載しているため、賃貸を売買、売買を賃貸への変更は不可能です。

Q 農地付きの空き家はありますか？

A ほとんどありません。村内で借りれる農地はありますので、一度ご相談ください。

空き家バンク制度の流れ





おすすめです!!



CHECK!

詳しくは
こちら



Q 空き家の見学は可能ですか？

可能です。

A 事前にお電話にてご予約ください。
見学日は、
毎月第2、第4の月曜日と火曜日です。

Q 空き家バンクの物件情報に金額が載っていないのですが…

A 金額は口頭にてお伝えしています。
お問い合わせください。

Q 空き家バンクには載っていない空き家らしきものを見つけました。詳細を調べてもらえませんか？

A 個人情報のため、お調べすることはできません。ご自身で調査をお願いします。

Q 移住支援はありますか？

A 空き家のリフォーム補助金や子育て世帯の新築助成などがあります。詳しくは、ページ下をご覧ください。

担当者からのアドバイス

充実した支援制度もぜひご利用下さい

空き家リフォーム補助金 200万円
子育て世帯新築助成金 100万円
固定資産税の減免 土地1/2
建物1/4

デザイン助成(屋根・外壁等の工事に助成金)

まずは役場の担当者にご相談ください!

移住について 総合政策課 農業について 観光農林推進課

☎代表 0744-54-2001



詳しくは
こちら



まずは明日香村のことをたくさん知ってください!そして、いろんな方と出会ってください。人と人のつながりから、移住につながっている移住者の方が多いです!

田舎になればなるほど、地域のコミュニティは盛んです!田舎でひっそりと暮らしたいという方にはお勧めできません。

車を所有されていることをおすすめします! 公共交通も充実しているので、なくても生活できないことはないですが、近隣のショッピングセンターやレジャー施設に行く際にも車があるとより便利です。大阪や京都、兵庫、和歌山にも1時間程度で行ける気軽さです。



水鳥



発行月
発行元

2022年3月
明日香村役場 総合政策課
奈良県高市郡明日香村大字岡55番地
0744-54-2001 (代表)



観光情報はこちら！

ASUKANAVI